

- P2 経営支援レポート
元気印 ズームアップ
- P4 令和5年度商工会福島県大会
- P5 青年部・女性部だより
- P6 「ゲーペ」ホームページコンテストを
開催しました
- P7 ググる・タグる・ジオる？
- P8 掲示板

ニュースクリップ News Clip

あ き ひと しょう こう にん
商きない工らす人びと ふくしま商・工・人

2024.3.1
Vol.404



P2に掲載

昔ながらの本物の味を守り
広く伝えていきたい

会津若松市・企業組合びかりん村



P3に掲載

拡大市場(カスタムカー)への参入と
地域NO.1カーショップを目指して!

松川町・株式会社 ユノカワ

元気印

経営支援レポート

ズーム

アップ

県内2地域の商工会からがんばっている会員企業をご紹介します。
みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。
是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せください。
(fukuren@do-fukushima.or.jp)



県北

松川町商工会

拡大市場(カスタムカー)への参入と地域NO.1カーショップを目指して!



株式会社 ユノカワ

代表取締役 湯野川 好男 氏

カーラウンジユノカワ

住 所 〒960-1241

福島県福島市松川町字中原30-3

連絡先 TEL:024-573-2564 FAX:024-573-2565

営業時間 9:00~18:00

定休日 火曜日

U R L <https://www.yunokawa-kk.com/>

カスタムカー専用HP <https://www.yunokawa-mobicam.jp/>

【事業所紹介】

弊社は福島市南部に位置する松川町において社長が長年塗料総合商社に勤務していた経験を活かし、自動車内装部品に用いる塗料卸売業を創業、平成14年事業拡大に伴い法人化しました。しかし、新型コロナウイルスの影響により車両需要減少、生産工場停止等主力製品である自動車部品用塗料の販売は落ち込みました。

この経営状況の回復を図り、一般車両の車検整備販売に加え、成長市場であるアウトドアに着目し、また、役員・社員がアウトドア車両の知識を豊富に有するという強みを活かし、オリジナルカスタムカーを主力商品とした自動車展示販売・整備工場「カーラウンジユノカワ」を令和4年に設立しました。



オリジナルカスタムカーは、主流の車種であるハイエースやキャラバン、またこれに限らず弊社で仕入れた車両やお客様がすでにお持ちの車両にご希望に沿った、収納システムやベッドマット装着等内装をアウトドア仕様へ改装することで、アウトドアを車1台で気軽に楽しむ事ができます。また、コロナ後はテレワークにも利用され、お客様には好評をいただいております。



一般車両の車検・整備販売は、お客様のご要望に沿った車両の仕入、整備から販売後のアフターフォローまで一貫したトータルサポートを提供しております。更に店舗にはカフェを併設しており待ち時間を快適に過ごせます。



【商工会の支援内容】

本事業所は新型コロナ及び物価高騰等、社会情勢の変化により過大な影響を受けました。経営回復を図り拡大市場であるアウトドアに着目し新規事業に参入しました。しかしながら、認知度向上を図り、HPやSNSによるPRをしたものの、商圏とする地域内での認知度はまだまだ低く業績が伸び悩んでいる状況でした。

この課題解決に向け、一般車両販売整備については、新規顧客獲得を図り、ターゲットとする商圏に絞ったチラシの新聞折込みによるPR、ニッチ市場であるカスタムカー車両のPRは広域的、幅広い世代へ向け、アウトドア専用HP作成及びWEB広告によりPRすることにしました。



このPR事業に向け、小規模事業者持続化補助金及びふくしま小規模企業者いきいき支援事業の活用を提案し、事業計画策定支援、採択後の事業実行支援を行いました。これにより、今後認知度向上による来店者増加等新規顧客獲得の効果が期待できます。

また、今回社長より相談を受けましたが、今後の事業承継を見据え、後継者である専務に本補助事業の担当を勧め、本事業を担当しました。これにより、専務が後継者としての自覚が芽生え後継者の育成にも繋がりました。

【今後の目標】

快適さを追求したオリジナルカスタムカーの製造技術の向上とお客様のニーズに対応したトータルサポートにより地域No.1の自動車販売整備工場を目指します。また、自社の発展が地域活性化の一助となり、松川町の賑わい創出に貢献できる事業所になることを目標としていきます。



会津

あいづ商工会

昔ながらの本物の味を守り広く伝えていきたい



企業組合ぴかりん村

理事長 小林 久子 氏

住 所 〒965-0111

福島県会津若松市北会津町下荒井字宮ノ東15-3

連絡先 TEL:0242-58-1050 FAX:0242-58-1053

定休日 土日・祝日/農繁期

U R L <https://www.pikarinmura.com>

【事業所紹介】

あいづ商工会館の隣、同じ敷地内で20年間商工会と共に歩んできた企業組合がある。

このご紹介します(企)ぴかりん村である。



会津盆地の中央に位置し、古来より城下町の食を支えてきた北会津地域。当地域は「ホタルの里」として有名であり、清冽な水とミネラルたっぷりの土壌が育む果物や野菜は香り高く素材そのものの味が濃い。ぴかりん村では、そんな農産物の風味を大切に、添加物を加えることなくジュースやジャムに受託加工している。一方で、オリジナル商品も多数開発しており、ジャガイモを使った漬物床「いもころりん」は、野菜だけでなく肉や魚につけて焼いても風味が増すと大阪のテレビ局が制作した番組で紹介されたのをきっかけに全国から2日で600件の注文が入ったヒット商品である。



女性ばかりで立ち上げた事業は、周囲の心配をよそに21年目を迎えた。かあちゃんたちが小さな歩幅でコツコツと作る商品は、作り手の姿そのままに、素朴で優しい滋味がある。

【経営方針】

加工の8割は、近隣の生産者から持ち込まれた果実を搾る作業が占め、瓶詰めされたジュースやジャムは各生産者に返されてから直販所等に卸される。店頭に並び瓶1本1本の色や味が微妙に違うのは、搾る以外に何ひとつ手を加えていない証でもある。



【商工会支援内容】

幼年期、メンバー全員、経営経験がなかったため、構想の段階から用地や建物の手配・機械の調達・行政への補助金申請・ジュースの作り方から会計簿の付け方に至るまで一つ一つ丁寧にサポートしてくれたのが商工会です。

成長期では、その時々課題について情報を共有し、課題解決に向けた様々な施策の提案指導を行い、申請支援から実行支援まで一貫した伴走支援を展開してきました。時には、①地域産業6次化ステップアップ強化事業補助金を活用し、計量機能付きジュース専用充填機を導入し、リードタイムの短縮と品質の安定を実現。②



農産振興事業「ふくしまプライド。」販売力強化支援事業補助金(旧ふくしまの恵みPR支援事業補助金)は幾度となく活用し、アグリフードEXPO東京を皮切りに様々な関東圏のイベントに出展してきました。

商談会ではパイヤー目線の取引に関する意見を直接伺える絶好の機会となり、即売会では品質やおいしさ、拘りを消費者に直に感じてもらう生の声をいただく等、経営戦略を策定するうえで非常に参考にさせていただきました。

近年はコロナ禍の影響で関東圏の商談会等への出展を見合わせ、③小規模事業者持続化補助金を活用したパンフレットの制作、④福島県商工会連合会が立ち上げた福島の生産者を応援するECサイト「シオクリビト」への登録、⑤伴走型支援推進事業による新商品の需要動向調査に加え(株)高島屋とオンライン商談を行うなど、積極的な販路開拓を継続して実施しています。



【今後の目標】

東日本大震災の風評被害やコロナ禍を経て、改めて創業時からの理念である「地域の農産物を、次世代を担う子供たちに食べてもらいたい」との想いが強くなった。成熟期を迎え、「事業承継」が今一番の課題と捉えている。そんな理念やノウハウを良い形で若い世代に引き継ぐためにも一度立ち止まって組織体系や業務全体を見直し、更なる成長を遂げたいと思っている。



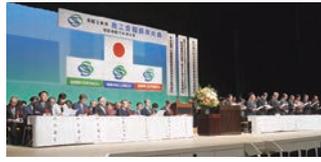
令和五年度商工会福島県大会

「ふくしまの商工業再生を目指して」

「地元企業と地域に心から頼られる専門集団として」

令和五年度商工会福島県大会が、戸邊東北経済産業局長、内堀福島県知事、森全国連会長、橋本須賀川市長をはじめ国会議員、県議会議員、市長村関係者等の来賓を迎え、十一月二十九日、須賀川市「須賀川市文化センター」で開催された。

今大会は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、平成二十九年度以来の通常開催として、商工会員、青年部・女性部員等約千名参加し、各表彰の授与及び県内産業の復興・再生に向けた支援強化、中小企業・小規模事業者支援対策の拡充や地方自治体に求める大会決議を採択した。



商工会の歌斉唱

巒田県連会長が挨拶で、「個人消費や観光需要が回復しつつあるものの、震災と原発事故の影響は今もって大きく、ALPS処理水の海洋放出による新たな風評被害発生懸念、さらには、甚大な被害をもたらす様々な自然災害が続い

ており、多くの事業者が、かつてない極めて厳しい経営状況にある。商工会は地域密着型の支援組織として、地域経済を支える中小企業・小規模事業者に寄り添った伴走型支援を柱に、経営改善普及事業を展開するとともに、新たな国・

県の施策推進や地域と連携した事業を積極的に実施し、健全な地域社会の維持発展のため全力で取り組む。」と述べた。

続いて、役員、青年部・女性部功労者等及び職員表彰及び感謝状の贈呈が行われた。



表彰

来賓祝辞、来賓紹介、祝電披露が行われた後、大会意見表明の三項目を、高橋副会長、橋本業務推進委員長、渋谷総務企画委員長がそれぞれ強く意見表明され、古橋副会長が大会決議を行い、満場一致で承認された。

一、中小企業・小規模事業者支援対策の拡充強化

① 中小企業・小規模事業者へのエネルギー価格及び原材料価格

高騰に対する支援の充実強化
② 最低賃金の大幅引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への支援の強化

③ 中小企業・小規模事業者が行うオンラインや非対面による販売促進及び新たな販路開拓等、アフターコロナ経営や生産性向上のためのDXを活用したビジネスの取組みへの更なる支援強化
④ 円滑な事業承継や創業・起業に対する支援の強化

⑤ いきいき補助金制度における経営環境変化への対応に対する支援区分の拡充強化
⑥ テレワークを活用した企業と移住者の県内誘致促進

二、原子力災害及び頻発する自然災害の克服と県内産業の復興・再生に向けた支援強化

① 原子力災害の完全収束に向けた取組みと、ALPS処理水放出に係る風評対策の徹底
② 避難指示解除区域等における帰還・移住のさらなる促進
③ 中小企業・小規模事業者への、迅速できめ細かな復旧・復興支援施策の継続と拡充強化
④ 事業再開等支援事業補助金の継続
⑤ 災害時に事業が継続できるよう、耐震や電源確保の設備投資等を行う中小企業・小規模事業者の取組みに対する補助金等の創設

三、商工会における経営支援体制の充実強化

① 商工会の支援人員拡充と事務局長設置要件の緩和
② 商工会のDX強化にかかる費用補助の創設
③ 商工会館の防災強化及び修繕費用補助の創設
④ 国への復興事業継続の後押しと避難地域商工会への支援継続

⑥ 福島イノベーション・コースト構想、福島国際研究教育機構(エフレイ)等の推進・拡充

大会後、「取材現場から見える、不況に負けない中小・小規模事業者経営」と題し、経済ジャーナリスト/イノベディア

代表の内田裕子氏の講演が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていた。



記念講演

東北経済産業局長表彰
《優良青年部、女性部》
片平町商工会青年部
大東商工会女性部
《役員等功労者》
菅野 昭則(川俣町商工会青年部)
諏訪 静枝(三島町商工会女性部)
長田 紀生(鮫川村商工会経営支援員)

他六名
福島県商工会連合会長感謝状
《感謝状受表彰者》
黒田 政徳(前県連副会長)

石本 健(前県連専務理事)
二瓶恵美子(前県連理事)
福島県商工会連合会長会長表彰
《役員等功労者》
大山 司(湖南町商工会) 他三十九名
白土謙太郎(滝根町商工会青年部) 他五十五名
高橋 三枝(富久山町商工会女性部) 他四十二名
小川 美佳(松川町商工会経営指導員) 他八名

小規模事業者経営改善資金(マル経融資)創設五十周年感謝状授与



令和五年度秋の叙勲
晴れの栄誉に輝かれたことをお祝い申し上げます。



〔旭日章〕岡崎 長市様
H28～H29 県連理事
H24～H29 国見町商工会長

令和5年度商工会青年部女性部合同トップセミナーⅡ開催!

令和5年11月2日(木)、郡山市「ホテルハマツ」に於いて令和5年度商工会青年部女性部合同トップセミナーⅡを開催いたしました。

第1部では、主張発表福島県大会において最優秀賞に輝いた、飯野町商工会青年部 常任委員 橋本博文様と矢祭町商工会女性部 常任委員 丸山美佳子様にご発表いただきました。

第2部では、『人柄にじむ福島通販 シオクリビトを知ろう・使おう』と題し、まずは「シオクリビトとは何なのか」を福島県商工会連合会 目黒孝幸主任主査より説明いただきました。その後、シオクリビトに登録いただいている6事業所の方に、自社の説明及び商品の紹介を行っていただきました。全ての事業所の説明終了後には実際の商品に触れ、説明を聞きながらご試食いただき、ECサイトを利用してご注文いただきました。

初の試みでしたが、商品への熱い思いなどを聞くことができ、大変有意義なセミナーとなりました。

【セミナー参加事業所】

登録No.	事業所名	代表者名
1	有限会社 大楳食品	大楳 広 様
20	淀屋 武藤合名会社	武藤 隆弘 様
34	株式会社 丸福織物 バウムラボ樹楽里	齋藤 陽一 様
35	伊達物産株式会社	清水 建志 様
67	安齋醸造有限会社	安齋 公一 様
73	合資会社 旭屋	田河 朋裕 様



シオクリビトは生産者の顔が見える福島の通販サイトです

生産者はシオクリビトとして、商品を直接購入者宛に発送します。
福島県にはどんなヒトたちがいるのかご覧ください。

通販サイトはこちら



「グーペ」ホームページ コンテストを開催しました

令和6年1月12日に二本松市「福島県男女共生センター」にて、昨年に続き2回目となるグーペホームページコンテストを開催いたしました。

このコンテストは、福島県内の中小・小規模事業者の販路拡大・取引先拡大支援と商品・サービス・ブランド等の情報発信力強化支援の一環として開催され、今年はグーペの「商工会員向け無料プラン」を利用している6事業所様にご参加いただきました。

コンテストでは、自社の紹介や、ホームページでやりたいことなどを自由に発表してもらいましたが、参加いただいた事業所のホームページは皆自社の目的や特徴を捉えたすばらしいものであり、商工会としても今後の支援において大変参考となるものでした。

より多くの小規模事業者が自身のホームページを持ち、活用することにより、販路拡大と自社商品サービスの情報発信力強化ができるよう、次年度以降も支援を続けて参ります。



【レポート】福島県連 「グーペホームページコンテスト2023」

コンテストの様子はグーペ公式HP（右記QRコード）に詳しく掲載されておりますので是非ご覧ください。



県連 HP 「グーペホームページコンテスト報告ページ」

参加者様のホームページは福島県商工会連合会のホームページでお知らせしております。



参加者及び受賞者

優秀賞

- 有限会社東南観光社
伊達市商工会



最優秀賞

- 多津美松華園
泉崎村商工会



優秀賞

- Oshare Zino
会津美里町商工会



参加者 ●味噌の小川屋／埴町商工会 ●有限会社ヤマザキ／石川町商工会 ●安齋醸造有限会社／桑折町商工会



ググる・タグる・ジオる??

福島県よろず支援拠点の保科と申します。WEB制作・プロダクションを経営しており、その経験や専門性を買われ二年前より福島県よろず支援拠点のコーディネーターとして事業者様に

広告、デザインから活用(情報発信)など、幅広くご支援させていただいております。創業や経営に纏わるご相談、T・DXのように専門性が高いお悩みなども、お気軽に福島県よろず支援拠点をご利用ください。

さて、今や中高生のあいだでもチャットGPTなど当たり前にAIを利用する時代となりましたが、皆さんは「必要な情報を取得するために」普段どうなさっていますか？

もっぱら私はタイトルにあるとおり三つの方法に依存している状況です。

「ググる」は皆さんご存知のとおりGoogle検索を利用して調べることです。こちらは説明しなくても理解されていると思いますので省略しますが、検索結果の上位表示「SEO対策(Search Engine Optimization)」については事業者様より相談される場合もあります。もし検索結果での上位表示を目指したいというお悩みが

あれば、よろずまで別途ご相談ください。

「タグる」とはSNSで使われるハッシュタグから検索する方法です。私の場合は主にInstagramで利用しています。

最後に挙げた「ジオる」とは聞き慣れない言葉かと思いますが。前述のSEO(他)JMEONという言葉はご存知ですか？JEOとは、マップ検索エンジン最適化(Map Engine Optimization)の略で、主にGoogleマップで検索結果が上位に表示するために対策することを表します。私の場合はGoogleマップの他に、Instagramでもマップを利用します。ですので、ジオロケーション(位置情報を扱う技術)全般を称して、勝手にそう呼ばせてもらっています。(笑)

インターネット上のカタログページやECサイトなどあまりマップ情報を意識しない場合もありますが、ほとんどの事業所やお店等のホームページであればマップ情報は集客する上で重要な役割を担います。

Instagramとは写真や動画で商品や観光スポットなどのイメージを伝える利点だけでなく、例えば「カフェを探す」「観光スポットを探す」などの既存

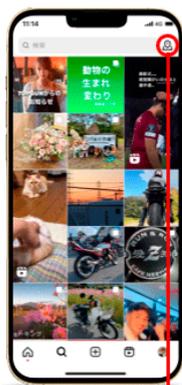
のカテゴリーで地図と連動している便利な機能があります。SNSのなかでもInstagramは利用率が高く、さらに利用層が20代から40代の女性が多いことを考慮しても、Instagramの位置情報に乗りない手はないと思います。

特に飲食店、美容室、宿泊施設の事業者様は即チエックしてみてください。コスメ&アパレル関係でしたらインスタショップの連携もお忘れなく…。

Googleマップに関しては、Googleが無料で提供している「ビジネスプロフィール」は必須だと考えています。Googleが集めたインターネット上の情報が勝手に表示している場合があります。

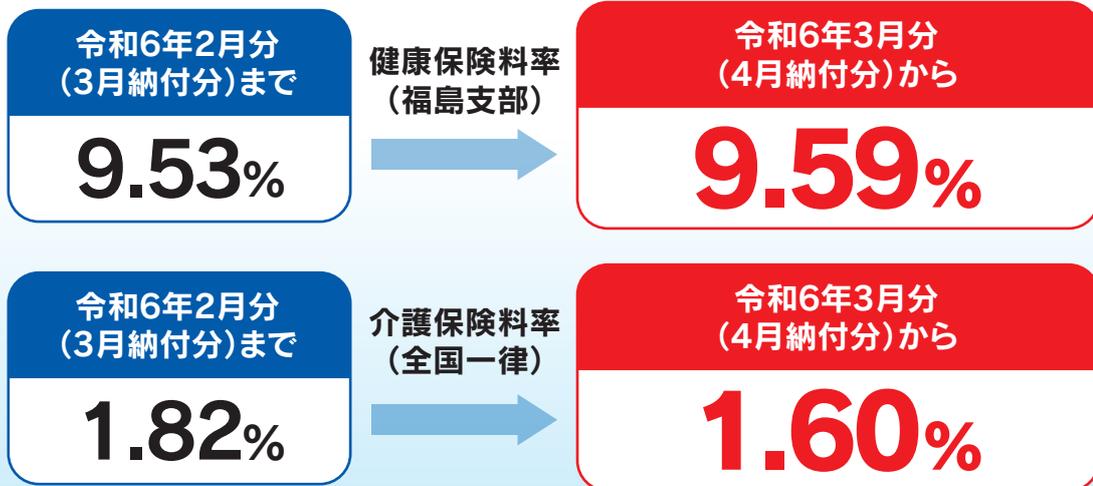
ますので(最低限の情報やユーザーの投稿による間違った情報が表示されているケース)オーナーとして登録して、正しい情報を発信する必要があります。Googleビジネスプロフィールを運用することで位置情報だけではなく、商材写真や利用者の口コミなどマーケティングツールとしても効果的に利用することをお勧めいたします。

集客する上で重要なのが事業または商材の「強み」をアピールすることですが、まずはそれらを見つけてもらう「前準備が大切」というお話です。見つけてもらうために「検索エンジン」や「位置情報」の登録をキッチンと整備しておきましょう。



福島県よろず支援拠点
コーディネーター
保科 耕造

協会けんぽの保険料率が変わります



加入者の皆さまが将来にわたって安心して医療を受けられるよう、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

令和6年度から 生活習慣病予防健診に追加できる付加健診の対象年齢が拡大されます



協会けんぽの生活習慣病予防健診をぜひご利用ください。

 全国健康保険協会 福島支部
協会けんぽ

企画総務グループ TEL:024-523-3916

INPIT 福島県知財総合支援窓口

知財のことならご相談ください
(相談・支援は無料です)

特許

TEL 024-963-0242

商標

意匠

一般社団法人福島県発明協会

著作権

